

三條南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



2012. 6.11

No.2040
No.40



出席率 | 会員46名中30名
先々週の出席率 | 84.09%

先週の
メイクアップ | 6/9 小千谷RC創立50周年記念例会・祝賀会へ
馬場信彦君 鈴木園彦君 熊倉高志君



会長挨拶
三條南ロータリークラブ 会長
鈴木 園彦

皆さん、こんにちは。ご挨拶を申し上げます。

6月9日(土)、小千谷ロータリークラブの「創立50周年記念例会・祝賀会」に市内4RCの関係者の方々とともに出席してまいりました。この日は新潟県地方も梅雨入りし、あいにくの雨の1日でした。

記念例会と案内をいただいておりますが、記念式典は大変にシンプルにまとめられ、40分位で終了しました。村松、五泉と同様、今のロータリーの記念式典の流れとなっているようです。ミニコンサートは、長岡交響楽団の30分の演奏で、祝賀会はその後2時間近くありました。

スポンサークラブは長岡RC、また、新潟中央RCと友好クラブを結び、活発に交流されているようです。

2013~14年度ガバナーノミニーに中条RCの山崎堅輔氏がすでに決定しておりますが、先日、2014~15年度ガバナーノミニーに小千谷RCの佐々木昌敏氏が決定し、この日の祝賀会の御礼の挨拶に初登場、ユニークなお話をされました。佐々木さんは、小千谷出身ですが、北越銀行在職中、加茂支店長時には加茂RC、三條支店長時には三條RC会員で、その後銀行を退職され、いろいろな仕事に関わり短期間のうちに大成功された方でいらっしゃいます。

翌10日(日)には、5月8日、94歳でご逝去されましたパストガバナー藤田説量様(三條RC名誉会員)の本葬が極楽寺の本堂にて執り行われました。2560地区、三條市内RC関係の方々、一般の方々が前日の『檀家葬』に続き大勢参列されました10時から読経が始まり、その後6名の方の弔辞があり、おごそかな内屋前に終了しました。

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。また、長時間にわたりお手伝いされた熊倉幹事、ご参列いただいた会員の皆様、雨の中ご苦労様でした。

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから—

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるか どうか



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー会長 カルヤン・
バネルジー [インド]

第2560地区ガバナー 石本 隆太郎 [新潟]

第4分区AG 山田 文雄 [見附]

会 長 鈴木 園彦

幹 事 熊倉 高志

S A A 吉井 正孝

事務局 〒955-8666 三條市旭町2-5-10

三條信用金庫 本店内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp

間もなく私の会長任期も終わりますが、この一年間で大変印象に残った事柄の一つに三条東RCの社会奉仕事業があります。2月4日（土）午後3時30分から5時30分、中央公民館で催された「うつ病や出会った人との縁など ～体験に基づく人生論と演奏～」と題しての津軽三味線プレーヤーの小林史佳氏の講演と演奏会です。

小林氏は、1974年新潟生まれの37歳。新潟に拠点を置き、津軽三味線演奏家として国内外で演奏活動を行っています。現在は、故高橋竹山師の直弟子の高橋栄山師、故成田雲竹師の愛弟子 初代 須藤雲栄師のもとで研鑽を積んでいます。その音色のバリエーションにより、一人でもあたかも複数人で弾いているように感じます。この独自の奏法によって生み出される音は、『優しく』『柔らかく』『凄みがある』と定評があり、世代を超えて多くの人々を魅了しています。

サラリーマン時代の「うつ病」の体験談やその後に出会った人との縁など、自らの体験に基づく人生論の語りにも多くの人の共感を得ており、学校や福祉施設、お寺などでも公演を行っているそうです。

母親で三味線の師匠でもある高橋竹育さんも登場され、講演の間に演奏を挟む形で進行され、演奏では親子共演も披露されました。

講演は、自らの半生から話が始まりました。

新潟高校卒業後、コンピューターの勉強がしくて立命館大学に進み、NTT入社…いわゆるエリートコースを歩みました。学生時代は身長が180cm以上あり、バスケの選手でもありました。バリバリ仕事をして数年後、NTTの分社化、社内の業務の変化から急に仕事が手につかなくなり、精神的に追い詰められ病院へ、そこで「うつ病」と診断され休職に至りました。その後は、引きこもり生活が続き、さらに重いうつ病となり、「現実から逃げたい」～「死にたい」と苦しんだそうです。

そんな中、暗やみから救ってくれたのは母親でした。一人っ子の小林を大変心配し、「どうせ死ぬことを考えているのなら、ゼロになって帰って来なさい」…その一言で救われ、全てを清算し大阪から故郷の新潟へ戻ってきました。しかし、新潟での就職活動も精神的にまだ難しく、落ち込む日が続きました。その時、長く三味線教室の先生をしていた母親が「三味線でも弾いてみたら」と勧めてくれたそうです。小学校の頃から三味線を習い始め弾いてはいましたが、全然熱心ではなかった。26歳で新潟に戻り、それこそ久しぶりに三味線に触れ、スーッと入れた、入ることができた、弾けた…。普通の人では10年、20年掛かることが数ヶ月で出来た、曲目を覚えられた…。母親は息子の才能を前から見抜いていたと講演会で話されました。本人も父親も以前は全く反対で、「勤め人」というレールを強く引いていたそうです。人生は先のことは分からない、何がどうなるのか…。本人の才能が土台にあるのは勿論ですが、親が「大事なところでその心に触れる、タッチする大切さ」です。

演奏では、有名な『津軽じょんがら節』を始め10数曲を披露、1曲ごとに大きな拍手がわいておりました。

私は、小林さんを初めて知ったのですが、観客の中には小林さんを知る方が多く、掛け合いをすることもあり、温かい拍手に会場が包まれていました。

会場設営準備、司会進行や段取りも上手く行き、大雪の中足を運ばれた満員のお客様が感動する素晴らしい「講演会」でした。講演者本人だけでなく、母親の証言と言いますか、その状況の話を聞くことができた今回のような講演会は珍しいのでしょうか。

東RC 石田会長が御礼の挨拶の中で、「自殺が10年以上にわたり年間3万人を超す日本、さらに新潟県は常に上位にランクされ、三条市の自殺者数も県下の上位にランクされていて目立っては改善されていない。」と話されておりましたが、クラブ創立以来『命の大切さ』をテーマに取り組んでおられる東クラブの真摯な姿勢に共感いたしました。

幹事報告



熊倉 高志 幹事

○鈴木ガバナーエレクト事務所より 「2012～13年度インターアクト年次大会」開催のご案内

【大会期日】 2012年7月15日（日）～16日（月・祝日）

【会 場】 東京学館新潟高等学校

【宿泊施設】 学生総合プラザSTEP

【大会テーマ】 「地域の食育と知的発達障害のある人たちとスポーツを通して社会参加を応援しよう」

◆—— 年間出席率 90%以上 維持 ご協力のお願い ——◆

当クラブは、創立以来、毎年90%の出席率を誇っています。5月末現在の平均出席率は90.23%となっております。今年度も是非この出席率を堅持するべく皆様のご協力をお願い申し上げます。

6/14日（木）加茂RC 19日（火）分水RC 21日（木）加茂RC 26日（火）三条北RC
27日（水）三条RC 28日（木）三条東RC、燕RC 29日（金）吉田RC

が例会変更のため記帳ができます。欠席補てんにお役立て下さい。

ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

～6月11日 10,000円
今年度累計 817,390円～

鈴木(囃)君 昨日 パストガバナー、三条クラブ名誉
会員 藤田説量様の葬儀に参列された
皆様、雨の中ご苦労様でした。

熊倉君 坂井次年度会長、本日はよろしくお願
いいたします。

野中君 次年度ニコニコBOX担当です。
本年同様よろしくお願いいたします。

坪井君 暑くなってきました。BOXに協力！

佐藤(秀)君 都合により早退します。

馬場(信)君 9日の小千谷50周年では、昼食に小千谷
蕎麦がふるまわれ、久しぶりに3人分弱位
食べてきました。

10日は故藤田説量パストガバナーの告別
式で弔辞を述べさせていただきました。
南クラブで卓話をされた週報が残されてお
りましたので、遺言ということで藤田先生
の卓話を中心に紹介させていただきました。
ありがとうございました。

滝口君、田中君、銅冶君、
BOXに協力致します。

Club Forum



クラブフォーラム

次年度事業計画

■ 坂井範夫会長エレクト
クラブ会長主要目標



奉仕で自己を磨く

2012-13 三条南ロータリークラブのテーマ

「ロータリーの綱領」を第一として、奉仕により、多くのことを知り、
経験を重ねることで自分を磨くことができます。
日常生活、事業、職業を通じてロータリーの精神を実行しましょう。

[クラブ運営方針]

- 1) 会員増強を全員で実行していくことが第1の目標。特に若い方の入会を期待したいと思います。
- 2) 会員全員でロータリー運営を……。例会をできるだけ全員参加としていきたいと思っています。

会員皆様方の絶大なるご協力とご指導をよろしくお願いいたします。

2012-13 クラブ運営について

1. 例会について

- ① 通常の卓話の他、メンバー全員に年2回程のミニスピーチを……。
会社のこと、家庭のこと、政治・社会、趣味等なんでも良いので5分程度の話をしていただきたいと思いま
す。
- ② 第1例会は「クラブ・フォーラム」として『ロータリーの綱領』と『三条市民憲章』の唱和と「ロータリー
の友紹介」の継続
- ③ 前年度に続き「会長経験者」による卓話を継続
- ④ 月に1回の『エコランチ』の継続

2. 対外的

- ① 市内 他クラブとの交流・合同行事について
- ② 社会奉仕活動のプログラム 地域社会に役立つ奉仕活動

※ 市内 4RC 会長・幹事・社会奉仕委員会を3回ほど開催し、そこで合同社会奉仕事業として
東日本大震災被災地 南三陸を訪問、現地でのロータリークラブとの懇談会及び被災地の視察等、また、
「訪れることで被災地を応援……」と、付近の温泉地で懇親会を予定しています。

(10月16日(火)～17日(水))が予定されています)

※ 当クラブ独自の社会奉仕事業として、次年度社会奉仕委員会と協議しておりますが、AEDの寄贈、また、
45周年を記念してのコンサート等の提案があり、検討を進めております。



2012-2013 年度収支予算（案）について

次年度会費につきまして現行の半期 125,000 円を 120,000 円とし、ロータリー財団特別寄付（ポール・ハリス・フェロー積立）を 5,000 円、米山記念奨学会特別寄付（米山功労者積立）を 5,000 円の計 10,000 円を別途、会費と一緒に徴収させていただくことと致しました。

6 月 4 日開催の現・次年度理事会におきまして承認されましたので、皆様にもよろしくご了承いただきたくお願い申し上げます。

なお、内容詳細につきましては配布の予算書（案）をご確認願います。

野中 悟次年度親睦・プログラム・ニコニコボックス委員長



委員会の目的及び事業内容

＜親睦＞ 会員全員が参加し、楽しい例会、親睦会を実施することで会員の友情を深める。

OSAA と協力し会場づくりをする

○会員、ご夫人の誕生祝い、結婚記念のお祝いの贈呈

〔行事〕

7/3 公式訪問	8/27 夏忘れ例会
10/16～17 合同社会奉仕事業	12/17 忘年家族会
1/28 新年会	3/12 合同例会（夜）
4/22 旬例会	6/3 45 周年創立記念例会
6/25 会長幹事慰労会	

＜プログラム＞ 例会出席の向上のため（90%以上）、バランスのとれたプログラムを心がける。

○委員会事業に重点を置く

○前々年度、前年度に引き続き、歴代会長に卓話をお願いする（年 6 回）

○第 1 例会でのショートスピーチの実施（年 6 回）

＜ニコニコボックス＞ 会員にクラブ奉仕、社会奉仕に大変役立つことを理解していただけるよう、全会員に参加していただく。

○第 1 例会は親睦委員会が担当し、他は会員全員で実施する。

Speech



卓 話

5 月 8 日、1986～87 年度ガバナー藤田説量様（三条ロータリークラブ・名誉会員）がご逝去されました。

藤田パストガバナーの温かいご指導に深く感謝申し上げ、ご生前のご功績を偲び、心よりご冥福を申し上げます。

藤田パストガバナーには、地区大会、地区協議会、IM といろいろな会合で、また、当クラブ例会におきましてもたびたび貴重なお話しをお聞かせいただきました。

今から 8 年前の 2006（平成 18）年 2 月 27 日、当クラブ第 1778 回例会に「ロータリー創立記念日に寄せて」と題しまして卓話をいただいております。そして、この卓話は藤田パストガバナーの南クラブにおける最後の卓話となりました。そのお話しをご紹介します。

「ロータリーの創立記念日に寄せて」

パストガバナー 藤田説量様
（三条 RC）

骨董品をお呼びいただきまして、しゃべる化石と言われております。

一昨年（2011）の 8 月に体調が悪く診断をいただきましたところ、「次の診察日には、子供さんと呼んで下さい」とのこと。家族を呼べということは、「もう、お前は最後だよ」ということだろうと覚悟を決めておりました。何か 5 つ、6 つ言われたようでしたが、この診断書を持って、明日手術をしてもらうようにとの厳命でございました。しかし、私はもう 85 歳、このまま最後を迎えたい、そこらを切ったりするのは痛そうだからご免と、やめたのです。

その後、体調の方は何とか『老人性健康体』を保っております。首から上とへそから下は全く役に立たないけれど

も内臓は半年や一年はもちそうだという状態を私は『老人性健康体』と言っています。

毎日大変忙しく過ごしております。廊下を行ったり来たりが忙しい。用を思いついては廊下に出、その途中で忘れてまた戻る、昼間の半分は捜し物をしている状態です。夜は夜で、トイレに通うのに廊下を行ったり来たり、これが本当の老化（廊下）現象です。人様に迷惑をかけない形で最後を迎えたいと願っております。



今日は、「R I 創立記念日」ということでお招きいただきましたが、2、3気付きましたことをお話してみたいと思います。

1. 青年弁護士ポール・ハリスが石炭商、鉱山技師、仕立屋の3人の仲間とシカゴのバス発着所前の小さなビルの中で会合をもったのがロータリーの始まりです。私も訪ねたことがございますが、汚い小さな部屋で、よくここから大きなロータリーが出来たと感嘆し、また、今の華やかなロータリーを思うとみずぼらしさを痛感致しました。

その時代、商業道徳も失われたような不穏な町の中で、お互いが信頼出来る公平な取引がしたいという考えで発足したもので、違った職業の人達同士が、お互いの職業で便利を図りあいたい、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたいという趣旨でロータリークラブという会合を考えました。こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。そして、ロータリーも段々と成長し、今や、そういうものを越えた大きな団体になったわけです。

2. 私がガバナーになりましたことが大きな間違いでございまして、三条クラブが30周年を迎え、それに際して「ガバナーを輩出せよ、お医者様の渡辺蔵一ガバナーの後は坊主のお前しかいない」と印籠を渡され任命されたのでございます。

私のガバナー年度（1986～87年度）で、前年度に決定されたポリオ・プラス（正式にはポリオ・プラスファイブ：ファイブ＝麻疹、破傷風、百日咳、ジフテリア、結核）を5年間行なうことの第1年目が始まりました。5年間、1人8,000円ずつを集めるという目標です。これはユニセフに協力して行なわれたものですが、それまではガバナーの描く目標は、年次を重ねてはいけないという金科玉条がありましたので、R I 本部でも戸惑いがあったようです。

公式訪問を重ねてかなり反発もありましたが「世界の平和をうたっているロータリーに何が出来るのか、戦争を阻止出来るのか、原爆をつくることをやめさせることが出来るのか。世界に働きかけて出来るのは、世界の子供達からポリオをなくすことだ」と説いてまわったのです。そして、ポリオ撲滅に力を注いでいた世界児童の健康を守るユニセフに協力するという形をとったのです。

日本の戦後の子供達は、世界的支援を得てどんなに幸せであったでしょう。大人達もその恩恵を蒙ったのです。そのお礼返しの意味でもこのポリオ・プラスは実現しなければならないと仲間達を説得しました。お陰で40億のお金が集まり、世界の後進国に薬として配給されました。お金を出すだけではいけないという信念から現地に飛んだ方もいらっしゃいます。その方の中には亡くなられた方もおられます。

40億のお金を集めて、ポリオの終結宣言を致しましたが、ロータリーのない国、中央と関係を絶っている部族などには行き渡らず、いまだにポリオ・プラスの協力をお願いしておりますが、世界の平和のため機会がございましたらご協力をお願い申し上げる次第です。

R I として次は何をなすべきか。ポリオ・プラスにより命を救われた子供達が成長しますと、今度は職業の問題が出てきます。立派に就業できるよう考慮してゆくことが今後のロータリーの課題の一つであると思います。

3. 日本のロータリーが、日本の為にこれから何をしなければならないかを考えた時、日本の青少年問題を優先しなければならないでしょう。日本の青少年の将来というものは非常に危惧すべき状態にあると思うのでございます。

近年、青少年が起こす目を覆うばかりの事件は個人個人の問題としてしか取り扱われていない・・・。

昭和21年に会ったアメリカ人がいみじくも言っておりました。「今、アメリカでは、豊かさしか知らない青少年の非行が増えているが、今こそ貧しい日本だけれど、いつか同じような問題を抱えるだろう。今から教育をしっかりしなければならない」と。

現在、まさに豊かさしか知らない青少年の非行が目に残ります。

子供の教育の問題が大きく取り上げられる中、子供の教育は家庭だと言われていますが、どのように育てるかという視点が失われているようです。子供が胎内に宿しているうちにやさしい歓迎の言葉、即ち、君が生まれて来る事への期待を話してあげることが大事なのです。そして、子供の誕生を歓迎し、3歳頃まできっちりと母親の手の中で育てられていれば、気持ちの安定した子供に育ち、これから直面するであろう人生の色々な困難を乗り越えられるたくましい知恵と能力が備えられるのです。

これからの子供達の問題に、日本のロータリーが結集して呼びかける運動をされるならば、青少年問題は皆滅するのではないのでしょうか。

昭和18年に駐在したフランス大使が「日本民族は貧しいが高貴な所がある」と言っておりましたが、神戸や新潟の大地震、三条の大水等で肅々と協力して克服する努力をされていた姿こそ日本人のすばらしさなのです。これをいつまでも続けさせなければなりません。私達の両肩にかかった大きな問題なのです。

Sunday

Monday

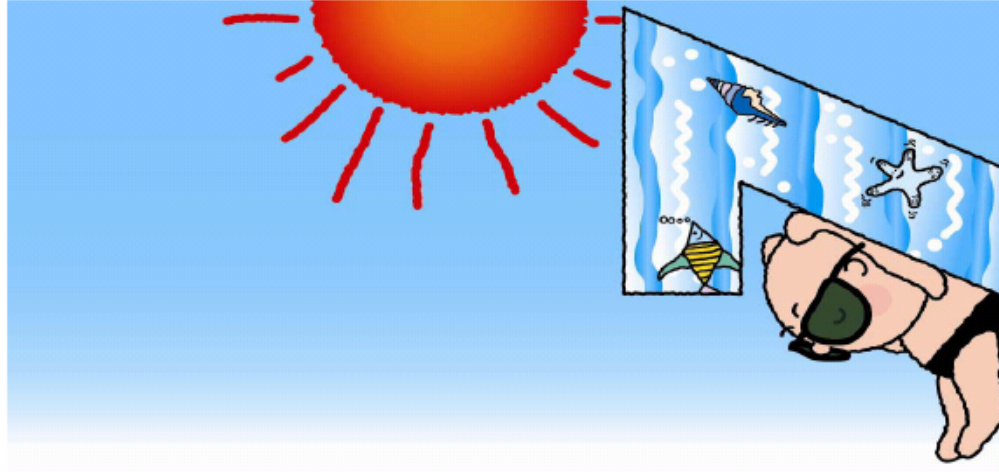
Tuesday

Wednesday

Thursday

Friday

Saturday



7/1
2 ◆南RC
クラブ・フォーラム
& ショートスピーチ
9 ◆南RC
「公式訪問事前訪問」
第4分区カバナー補佐
杉山 太三郎 様
於：ロイヤルホテル
15 16 海の日
16 ◆南RC
休 会
22 23 ◆南RC
鈴木重吉カバナー
公式訪問
12:30~15:00
於：銭心亭おゝ乃
29 30 ◆南RC
歴代会長卓話
佐藤 秀夫
第35代会長

3 ◆北RC
「新年度方針
発表」
10 ◆北RC
卓話
三条商工会議所
専務理事
木村 文雄 様
17 ◆北RC
卓話
森 宏 会員
24 ◆北RC
三条鍛冶道場
館長
長谷川 晴生 様
31 ◆北RC
クラブ休会
※記帳ができます

4 ◆三条RC
クラブ・フォーラム
於：越前屋ホテル
11 ◆三条RC
卓話 三条工業会
専務理事
涌井 清次 様
於：越前屋ホテル
18 ◆三条RC
納涼例会
於：越前屋ホテル
※記帳ができます
25 ◆三条RC
卓話
茨谷 健一 会員
※記帳ができます

5 ◆東RC
「新年度方針
発表」
12 ◆東RC
卓話
パストガバナー
中條 耕二 様
19 ◆東RC
「夏期交換学生
歓迎例会」
26 ◆東RC
納涼例会
※記帳ができます

6
13
20
27
28

7
14
21
28

*近隣RC例会変更のお知らせ

- 加茂RC 7月12日(木) 新旧役員交替慰労会
- 吉田RC 7月20日(金) 夜例会
- 燕 RC 7月26日(木) 移動例会

表紙について

熊倉高志君

- 6月2日・この日何の日? 横浜港開港記念日・長崎港記念日
1859(安政6)年のこの日、前年に締結された日米修好通商条約により
それまでの下田・箱館(函館)のほか、神奈川(横浜)・長崎の港が開港した
- 6月2日・この日誕生は?
飯干晃一(小説家「仁義なき戦い」)1927年) 平泉 成(俳優 1944年)

「1962(昭和37)年6月2生」

記帳場所

加茂産業会館 2F 事務局
山岸会計事務所
燕三条ワシントンホテル

三條南ロータリークラブ週報
2012. 6.11
No.2040 No.40